

# 単位互換のすすめ

## 学都仙台コンソーシアム 単位互換ネットワーク

### 他大学等の授業を受けて 単位を取ろう!

学都仙台コンソーシアムに加盟している大学等に  
在籍する学生は、他の参加校が提供する  
**約2,000科目もの授業**  
を履修することができます。

さらに、そこで取得した単位は自分が  
**在籍する大学等の単位として申請**  
することができます。

詳しくは学都仙台コンソーシアムのWebサイトへ!

学都仙台 単位互換

検索

#### 編集後記

G.S.C.を手にとりいただき、ありがとうございます!  
今回は『学都で学ぶ。学都に学ぶ。』をテーマに学生の学  
びに役立つ仙台市内外の6施設をご紹介しました。興味の  
湧いた場所がありましたか?身近なところにあると言っても、近  
いからこそなかなか行く機会がないかもしれません。比較的  
時間に余裕のある学生のうちに、ぜひ様々なところに足を運び、  
学びつくしてください! 次号もお楽しみに!

令和元年度広報サポートスタッフ一同

わたしたちと一緒に学都仙台コンソーシアムを盛り上げていきませんか?  
他大学の学生と交流する中で、多くの  
気づきが得られます。少しでも興味の在る方は、  
ぜひエントリーしてください!! Let's join us!!!

~その他学都仙台コンソーシアムについてくわしくはwebで!  
<http://www.gakuto-sendai.jp>

学都仙台コンソーシアム広報部会事務局  
(東北大学教育・学生支援部教務課教育支援係)  
TEL : 022-795-3925  
FAX : 022-795-7555  
E-mail : kyom-d@grp.tohoku.ac.jp

## 学都仙台コンソーシアム

# G.S.C.

学生が紹介するキャンパスライフ

GAKUTO  
SENDAI  
CONSORTIUM

2019.12  
vol.23

TAKE FREE  
※J-ETN登録済み



学都仙台コンソーシアム とは、

若い力の溢れる“学びの都 仙台”の魅力を引き出すため、仙台の大学等と行政・企業が学校の垣根を超えたつながりを生み出し、様々な取り組みを行っている組織です。私たち学都仙台コンソーシアム広報サポートスタッフは、そんな仙台の学校・学生の魅力を本誌“G.S.C.”等を通して県内外へ発信しています。

“学都仙台”を全国にアピールするだけでなく、学生自身がその魅力に気づき一層盛り上げていけるようにサポートしていきたいと思っています。今回はこのG.S.C.を読んで、まだ知らない学都仙台の魅力是非探してみてください!

- 場所  
気仙沼市波路上瀬向9-1
- 開館時間  
9:30～17:00  
(10月～3月は16:00まで)
- 休館日  
月曜(祝日の場合は開館し、翌日休館)、祝日の翌日、年末年始
- 入館料/有料

詳細は公式サイト  
をチェック➡



### 津波により運ばれてきた車

震災前、この場所は「電気器具使用されていた教室でした。目の前の被災車両は、震災当時に市内にある(株)オートショップ加藤三好町の方に、作車として貸し出したものでしたが、津波によって、地味高さ約8メートルのこの場所まで搬入されました。震災の爪痕が消えていくなか、今もなお、津波の威力とその恐ろしさを覚えていきます。Sendai Multicultural Coexistence Center

- 場所  
仙台市青葉区青葉山無番地  
仙台国際センター会議棟1階
- 開館時間  
9:00～17:00
- 休館日  
年末年始、および毎月1、2日程度不定休

詳細は公式サイト  
をチェック➡



## 仙台多文化共生センター

## 気仙沼市 東日本大震災 遺構・伝承館

### 確かにそこにあった、当たり前暮らし。

2011年3月11日。東日本大震災により、気仙沼市では甚大な被害が生じました。当時の記憶が風化しつつある今、あなたに、再び震災の教訓を語りかけます。



### 学びのポイント

#### 震災の記憶を 思い起こさせる場所

ここでは震災伝承館と、震災遺構である気仙沼向洋高校旧校舎の一部を見学できます。伝承館では、当時の気仙沼の写真や映像を、震災遺構では、校舎の惨状や周辺の復興状況を見ることができ、同時に思いを馳せられます。



#### “目に見える証”として 教訓の場に

当時、生徒は校舎を離れ水平避難、校舎に残った方々は垂直避難をすることによっていずれも難を逃れました。次に津波が来たとき、あなたが如何にして命を守るか。当時の息遣いを感じて、今後に活かす教訓を学びましょう。



#### 『1回来てみて、 感じてほしい。』

例えばあなたが学生なら、通っている学校がこうなってしまったらどう思うでしょうか。いつ来ても、誰が来ても、感じ方が違う場所。あなたがどう感じたか、ぜひメッセージに残してってください。



画像提供：気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

記者より 2度目の往訪でしたが、前回と見える景色が異なりました。何度でも来たいところです。

### 国籍の違いだけでない、多文化の共生を

今や仙台市の約1%を占めるほどに多い外国人住民。ここでは、言語や国籍、民族等の違いにかかわらず、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりをお手伝いします。



### 学びのポイント

#### 仙台に住む外国人住民を あらゆる手段でサポート

外国人住民が困ったときに相談できるよう、情報カウンター、通訳サポート電話などを設置し多言語で対応。在留手続きなどに関する問題も、定期的な専門相談会でお悩み解決。周りの外国人住民にぜひ教えたい施設です。

#### 国際交流の 機会創出

情報カウンターでは、語学、国際協力等に興味のある方への情報提供も行っています。掲示板では語学パートナーの募集やイベントの告知が。どうやって国際交流の一步を踏み出せばよいかわからなかった方、必見です。

#### 留学生だけじゃない！ そのあなたも

「困った。なんとかしたい」、「新たなつながりが欲しい」、「もっと学びたい」など、あなたや周りの方々の希望の受け口となれるところが、仙台多文化共生センターです。詳しくはWebサイトでチェック！



記者より 運営元のSenTIAでは学生ボランティアとして活動できるとのこと。Check it out!!

- 場所  
多賀城市高崎1-22-1
- 開館時間  
9:30～17:00
- 休館日  
月曜日(祝・休日の場合はその翌日)・年末年始  
12月はメンテナンスのため休館
- 観覧料／一般460円  
小中高生無料  
※特別展は別料金

詳細は公式サイト  
をチェック➡



## 東北歴史博物館

### 「東北地方全体の歴史」～旧石器時代から近代まで～

宮城県だけでなく、東北地方全体の歴史を伝えることがコンセプト。総合展示室では旧石器時代から近代まで、時系列に沿ってまんべんなく展示されています。



### 学びのポイント

#### 歴史に詳しい人も、詳しくない人も楽しめる

歴史好きの人には、多賀城に関する展示がオススメ。立地からもわかる通り東北歴史博物館の強みとなっています。あまり歴史に詳しくないという人でも、各展示には映像やミニチュア模型などでわかりやすい解説がついていますし、特に「村におけるワラの神々」の展示は視覚的にも楽しいものとなっているのでオススメです。



#### 充実したイベント

イチオシのイベントは、毎年3回ほど行われる特別展です。日本全国各都市を巡回していくものや、東北歴史博物館の学芸員が考えたものなど、内容は多岐にわたります。11月24日(日)まで開催していた「蝦夷-古代エミシと律令国家-」には、連日多くのお客様が来館していました。

その他にも、学芸員が日頃の調査・研究についてお話しする「れきはく講座」や、民俗分野の学芸員が解説を行う「民俗芸能講座」などが令和2年1月から予定されています。ぜひ参加してほしいとのことです。



#### 施設の方のメッセージ

学校の勉強とは違い、「これを理解しないとけない」というものはないので、敷居が高いと思わず、縄文人の作ったイノシシかわいいとか、歴史の授業で見たあの名前だなど、気軽に来て自分なりの発見を楽しんでほしいです。

#### 記者より

多賀城や宮城県の歴史の展示が充実しているだけでなく、東北各県について深く知ることができる展示がたくさんあり興味深かったです。また、博物館周辺にはもちろん史跡もあるので、歴史探訪にいかがでしょうか。

- 場所  
仙台市青葉区土樋一丁目3-1
- 開館時間  
9:30～17:00
- 休館日  
日曜・祝日・休日・大学の定める休業日
- 観覧料／一般200円

詳細は公式サイト  
をチェック➡



## 東北学院大学 博物館

### 学生の学びをそのまま展示

コンセプトは「大学での日本史・民俗学・考古学の調査研究成果の発表の場」、そして「博物館学芸員資格課程の学生実習の場」。なんと大学生や大学院生が中心となって展示や解説を行なっています。



### 学びのポイント

#### 学生が考えた展示たち

館内で特に目を引くのは、学芸員実習で学生が作成した展示パネルの数々。雑誌をイメージしたデザインや言葉選びなど、随所に楽しい工夫が見られます。写真のパネルでは縄文土器の種類の見分け方についてわかりやすく解説されています。



#### 地域の歴史が学べる!

主に文学部歴史学科の研究結果を展示しているため、歴史について学ぶことができます。墨書人面土器は博物館のシンボルです。板碑の発掘には日本中世史ゼミの学生が携わっています。

さらに、展示は2～3ヶ月で入れ替わるので(これも学生の手で!)、来るたびに新しい展示を見ることが出来ます。



#### 施設の方のメッセージ

公立の博物館とは異なり、使命にとらわれず遊び心をもった展示をしているのが魅力です。学生が考えた展示を見て、「自分だったらこう紹介するな～」など学芸員の視点に立っているいろいろ考えてみるのも面白いですよ。

#### 記者より

学生主体で展示・解説を行なっていることに驚きました! 工夫の凝らされた展示からは、学生の努力の成果を肌で感じることができて刺激的でした。

- 場所  
仙台市青葉区荒巻字  
青葉 468-1 (東北大学  
青葉山新キャンパス内)
- 開館時間  
10:00～20:30 (平日)  
10:00～17:00 (土日祝)
- 休館日  
月曜日, 祝日の翌日,  
年末年始

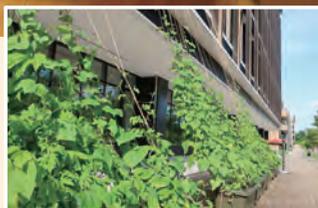
詳細は公式サイト  
をチェック➡



## せんがい環境学習館 たまきさんサロン

### 興味に合わせて環境学習!

仙台は戦災以降、粉塵被害や河川の水質悪化といった様々な環境問題に直面し、乗り越えてきました。たまきさんサロンでは、そうした歴史をはじめ、身近な環境について、興味のままに学べる空間が用意されています。



### 学びのポイント

#### 分野横断的な学びを 子供から大人まで

地球温暖化をはじめとする環境問題の解決には、気候や生態系に関する理学、エネルギーや産業に関する工学、土壌や食料に関する農学といった幅広い学問の統合が必要です。そのための学びを、学問分野の枠を超えた2,000冊以上の書籍がサポートします。また、年20回以上開催される「サロン講座(仙台市企画講座)」では、様々な分野の専門家が「環境との関わり」をわかりやすく解説します。

#### 広めたい知見・価値ある情報を 発信・共有できる場所

セミナースペースでは自分が講師となって「オープンサロン講座」を企画・開催し、市民と知見を共有することができます。また、団体での議論の場として貸切することも可能です(要予約)。そのほか、サロンスペースでは環境学習に役立つ展示を随時募集しており、日々の環境学習の成果を発信することができます。中高生の自主制作物や大学生の卒業研究の成果などをシェアしてみたいか、がでしょうか?



画像提供: たまきさんサロン

- 場所  
仙台市青葉区錦ヶ丘  
9丁目29-32
- 開館時間  
9:00～17:00  
9:00～21:30 (土曜日のみ)
- 休館日  
水曜日、第3火曜日(祝休日  
の場合はその直後の平日)  
※学校長期休業中は開館・  
年末年始(12/29～1/3)
- 観覧料/有料

詳細は公式サイト  
をチェック➡



## 仙台市天文台



### ミッションは「宇宙を身近に」

江戸時代、仙台藩は天文学を藩の学問と位置付けていました。宇宙と所縁のある仙台で、星空を眺めながら総合的に宇宙を学べる場所、それが仙台市天文台です。



### 学びのポイント

#### あらゆる興味に応える ナンバーワンとオンリーワン

国内最大級の天文展示室と水平型プラネタリウム、そして「ひとみ望遠鏡」は、宇宙に関するあらゆる興味に応えてくれるでしょう。仙台藩が使用していたとされる渾天儀(重要文化財)など、ここでしか見られない展示も好奇心を掻き立てます。

#### 季節に合わせて 台長が語る宇宙講話

毎週土曜日、宇宙が身近になる講話「トワイライトサロン」が開かれます。天文台長の土佐誠先生(理学博士)が宇宙をテーマにお話します。ユニークなゲストが来ることも。飲食自由・質問自由のひらかれた雰囲気、で宇宙への興味を深めてみては?

#### 天体観測に適した環境 ～身近な場所でも～

仙台市天文台が位置する錦ヶ丘では、天の川が肉眼で見られることも。「もっと身近で宇宙を見つめたい!」という方には移動天文台がおすすめ。毎月、市内の公園に移動天文車「ベガ号」がやってきます。日時と場所はWEBや広報誌「ソラリスト」をチェック!



画像提供: 仙台市天文台